

斯ク多數ニ野獸ニ結核ヲ見ル原因ハ該獵區ニ於テ、狩獵時速刻其場ニテ獵獸ヲ開腹、胃、腸、脾臓ヲ取り捨テ、而モ之ガ間モナク野猪、狐等ニヨリテ採食セラレカクシテ起ル食餌感染、又餌養場ヲ中心トスル空氣感染等考ヘラル。又野鳥ニヨル感染モアルベシ。菌型ハ牛型多カラント。
(北研 添川抄)

自然獵區ノ赤鹿ニ見タル慢性肺結核
O. Schiel: Chronische Lungentuberkulose bei einem Rothirsch aus freier Wildbahn.(B. t. W., 1937, S. 20)
牛型結核菌ノ空氣感染ニヨル赤鹿ノ慢性肺結核例ヲ報ズ。
(北研 添川抄)

~~~~~  
**會報並雜報**  
~~~~~

○五月中新入會者

山内 憲 禧	東京市豊島區池袋三ノ一三九二	南滿鐵安東醫院分院	滿洲安東
柴田 晴之助	大阪市此花區江成町九一濟生會大 阪府西野田診療所	岩本 茂 樹	滿洲國新京滿鐵醫院內科
大藤 信之	青森縣南津輕郡黒石町黒石津輕病 院內	石黒 和 夫	千葉市長洲町二ノ三一
齋藤 淨 造	朝鮮黃海道瑞興郡瑞興	佐々木 源三郎	札幌市北四條西五丁目
		岩谷 國 男	岐阜市花澤町二丁目三
		佐々木 範 男	福岡市屋形原市立屋形原病院內

○會員ノ訃

右記會員ノ訃報ニ接ス謹テ哀悼ノ意ヲ表ス
丹羽七次郎 林 茂

○渡邊博士著「結核ノ細菌及免疫學」ノ寄贈

今回北里研究所結核部長ニシテ本會幹事タル渡邊義評議員ニ寄贈セラレタルヲ以テ本月中旬本會事務所政博士著「結核ノ細菌及免疫學」ヲ同研究所ヨリ本會ヨリ夫々配布セリ。

第 15 卷第 5 號總會演說抄録ノ訂正

1) 512 頁、119 番(缺)トアルハ誤ニツキ訂正ス、尙ホ演說内容次ノ如シ。

119. 樺太土人(ギリヤク、オロコ族)及

近文「アイヌ」ノ肺結核ニ關スル

「レントゲン」學的研究

有馬 英 二
角田 育 之
有末 四 郎(北大有馬內科)
原 順 吉
葛西 も と
林 延 夫

昨年 7 月樺太北端在往土人「ギリヤク」、「オロコ」42 名ニ就キ又同 10 月北海道近文「アイヌ」89 名ニ就テ「レントゲン」寫眞撮影ヲ行ヒ肺結核ニ關スル検査ヲ施行セリ。

樺太土人ニ於テハ 42 名中早期型結核ハ 3 例晚期型結

核ハ 7 例石灰竈ノミヲ認メシモノ 11 例、肋膜肥厚 1 例ナリ、近文「アイヌ」89 名中早期型結核 4 例晚期型結核 7 例、肋膜肥厚 1 例ヲ見タリ、石灰竈アルモノハ 13 例ヲ算ス。

本研究ニヨリ樺太北端ノ未開土人ニ於ケル結核感染ノ猛烈ナルコト、肺結核ノ多數ナルコトヲ知り、北海道「アイヌ」ニ於テハ今回調査ノ近文「アイヌ」ニ於テハ前年ノ日高及膽振「アイヌ」ニ比較シテ稍ク少キヲ認メタリ。

肺結核型トシテハ樺太土人ニ於テハ増殖性ノモノ多ク近文「アイヌ」ニテハ滲出性ノモノ 1 名ヲ見硬化性ノモノ多カリキ。

2) 627 頁、96 番、化學的新藥「チモフォーゲン」ノ肺結核治療ト赤血球沈降速度トノ關係ニ就テ。トアルヲ

「95 番」トシ以下之ニ順ジテ番號ヲ一ツ宛繰上ゲル。

第 15 卷第 5 號金井・清水論文正誤表

頁	場 所	行	誤	正
29	歐文抄録	6	Eischeinung	Erscheinung
406	第 1 表	3	1823	1923